

対象		教科区分		授業方法	
1年		専門必修科目・学科		講義	
科目名・(時間数)		担当		実務経験	
衛生管理(30時間)		衛生管理教員資格取得者		3年以上(美容師)	
目標					
公衆衛生の向上と環境要因について知識を深め、美容師になるための衛生管理の基礎を習得する。					
回	授業内容	回	授業内容	回	授業内容
1	公衆衛生 公衆衛生の意義	11	演習問題②	21	演習問題②
2	公衆衛生発展の歴史 欧米のあゆみ	12	演習問題③	22	演習問題③
3	わが国の歩み	13	環境衛生 環境制度の概要	23	衛生害虫
4	第二次世界大戦後の 公衆衛生	14	環境衛生の目的と意義	24	ネズミ
5	美容師と公衆衛生	15	空気と健康	25	水質汚濁
6	保健所と美容業	16	日光と健康 気候と健康	26	美容所の環境衛生
7	母子保健	17	衣食住と健康 衣服の衛生	27	演習問題①
8	成人高齢者保健 平均寿命	18	上水道・下水道	28	演習問題②
9	精神保健	19	廃棄物	29	演習問題③
10	演習問題①	20	演習問題①	30	演習問題4
テキスト・教材など					
テキストは日本理容美容教育センター発行(衛生管理)を使用 サブテキストとして担当者作成のプリントを使用する。					
評価方法					
評価については前期・後期の学期末試験で理解度を計る。 100点満点中60点以上を合格とし、60点以下のものに対して追試試験を実施する。					

対象		教科区分		授業方法	
1年		専門必修科目・学科		講義	
科目名・(時間数)		担当		実務経験	
保健(30時間)		外部講師		—	
目標					
<p>人体の構造と皮膚の性質や構造についての知識を深め、 美容師になるための基礎知識を備える。</p>					
回	授業内容	回	授業内容	回	授業内容
1	細胞から系統 人体各部の名称	11	末梢神経とその働き 過去問題箇所チェック	21	呼吸器系のあらまし 気道
2	頭部・顔部・頸部の 体表解剖学	12	練習問題4	22	肺の仕組みと ガス交換呼吸運動
3	過去問出題箇所 チェック	13	試験の間違い解説 と直し	23	練習問題7 過去出題箇所チェック
4	骨の種類と構造 骨連結	14	視覚・聴覚・平衡感覚	24	試験の間違い解説 と直し
5	骨格器系とその働き 過去問題箇所チェック	15	視覚・聴覚・平衡感覚 過去出題箇所チェック	25	消化器系のあらましと 栄養素について
6	練習問題1・2	16	練習問題5	26	消化管の仕組み 消化管の働き
7	筋の種類とその特徴 主な骨格筋とその働き	17	血液のあらまし 血管循環の仕組み	27	消化と物質代謝 過去出題箇所チェック
8	表情筋と表情運動 理美容の作業と筋疲労	18	血液の循環経路 心臓と血管の働き	28	練習問題8
9	練習問題3 過去出題箇所チェック	19	リンパ管系の仕組み と働き	29	最新過去問実力テスト 答え合せ
10	神経系の成り立ち 中枢神経とその働き	20	練習問題6 過去出題箇所チェック	30	最新過去問実力テスト 答え合せ
テキスト・教材など					
<p>テキストは日本理容美容教育センター発行(保健)を使用 サブテキストとして担当者作成のプリントを使用する。</p>					
評価方法					
<p>評価については前期・後期の学期末試験で理解度を計る。 100点満点中60点以上を合格とし、60点以下のものに対して追試試験を実施する。</p>					

対象		教科区分		授業方法	
1年		専門必修科目・学科		講義	
科目名・(時間数)		担当		実務経験	
香粧品化学(30時間)		香粧品化学教員資格取得者		3年以上(美容師)	
目標					
香粧品化学の基本原理について理解とその応用力とが美容師にとって重要な意義を持つことを理解させる。					
回	授業内容	回	授業内容	回	授業内容
1	香粧品概論 社会的意義と品質特性	11	界面活性剤 基本的性質	21	基礎香粧品 皮膚洗浄用
2	香粧品規制 定義・製造販売・品質・表示・広告	12	界面活性剤 種類	22	化粧水 種類と機能
3	香粧品安定性と 取扱上の注意	13	界面活性剤の香粧品 への応用	23	クリーム・乳液
4	香粧品と安全性	14	高分子化合物 種類と特性 応用	24	その他の基礎化粧品
5	香粧品用原料 人体各部の性状種類と機能	15	色材 無機顔料	25	メイクアップ用香粧品の種類 と剤形 ベースメイク香粧品
6	皮膚と水 頭皮や毛髪 of 健康な状態	16	有機合成色素 光輝性顔料 天然色素	26	ポイントメイクアップ 香粧品
7	爪の性状 まぶたや口唇の性状	17	香料 種類 調合香料	27	頭皮・毛髪用香粧品
8	水性原料 水/エタノール	18	その他の配合成分	28	シャンプー・ヘアリンス トリートメント剤
9	油性原料 油脂/ロウ類	19	香粧品配合成分が与える 機能その他の特殊成分	29	スタイリング剤の機能
10	炭水化物 その他の原料,油性原料の機能	20	ネイル・まつ毛エクステ ンション用材料	30	スタイリング剤の機能 油性・液性・高分子物質
テキスト・教材など					
テキストは日本理容美容教育センター発行(香粧品化学)を使用 サブテキストとして担当者作成のプリントを使用する。					
評価方法					
評価については前期・後期の学期末試験で理解度を計る。 100点満点中60点以上を合格とし、60点以下のものに対して追試試験を実施する。					

対象		教科区分		授業方法	
1年		専門必修科目・学科		講義	
科目名・(時間数)		担当		実務経験	
文化論(30時間)		外部講師		—	
目標					
人間美の創造、実現が美容師にとって重要であり、更に美的感覚と美容の歴史を学ぶ。					
回	授業内容	回	授業内容	回	授業内容
1	総論	11	ファッション文化史 日本編 古代	21	ファッション文化史 日本編 現代1
2	日本の美容業の歴史 美容業の発生	12	ファッション文化史 日本編 古代	22	ファッション文化史 日本編 現代2
3	日本の美容業の歴史 美容業の発生	13	ファッション文化史 日本編 中世	23	ファッション文化史 日本編 現代2
4	日本の美容業の歴史 江戸時代の美容業	14	ファッション文化史 日本編 中世	24	ファッション文化史 日本編 現代3
5	日本の美容業の歴史 江戸時代の美容業	15	ファッション文化史 日本編 近世1	25	ファッション文化史 日本編 現代3
6	日本の美容業の歴史 近代の美容業	16	ファッション文化史 日本編 近世1	26	ファッション文化史 日本編 現代4
7	日本の美容業の歴史 近代の美容業	17	ファッション文化史 日本編 近世2	27	ファッション文化史 日本編 現代4
8	日本の美容業の歴史 現代の美容業年表	18	ファッション文化史 日本編 近世2	28	ファッション文化史 西洋編 古代エジプト
9	ファッション文化史 日本編 縄文・弥生・古墳時代	19	ファッション文化史 日本編 近代 明治・大正・昭和	29	ファッション文化史 西洋編 古代エジプト
10	ファッション文化史 日本編 縄文・弥生・古墳時代	20	ファッション文化史 日本編 現代1	30	ファッション文化史 西洋編 古代ギリシャ・ローマ
テキスト・教材など					
テキストは日本理容美容教育センター発行(文化論)を使用 サブテキストとして担当者作成のプリントを使用する。					
評価方法					
評価については前期・後期の学期末試験で理解度を計る。 100点満点中60点以上を合格とし、60点以下のものに対して追試試験を実施する。					

対象		教科区分		授業方法	
1年		専門必修科目・学科		講義	
科目名・(時間数)		担当		実務経験	
美容技術理論 (60時間)		美容技術理論教員資格取得者		3年以上 (美容師)	
目標					
美容用語、用具類、技術についての知識を深め、美容師になるための基礎知識を備える。					
回	授業内容	回	授業内容	回	授業内容
1	美論を学ぶにあたって	11	シャンプーイング リンス・コンディショナー・トリートメント	21	ヘアカッティング シザーズによるカット技法
2	美論を学ぶにあたって 人体各部の名称	12	シャンプーイング スカルプトリートメント	22	ヘアカッティング レーザーによるカット技法
3	復習・確認	13	復習・確認	23	ヘアカッティング レーザーによるカット技法
4	美容技術のおける 用具1	14	ヘア・デザイン	24	復習・確認
5	美容技術のおける 用具2	15	デザインの要素	25	パーマネント ウエービング
6	美容技術のおける 用具3	16	デザインの原理	26	パーマネントウエービング パーマ剤の分類と注意事項
7	復習・確認	17	ヘアカッティング	27	パーマネントウエービング パーマネントウエーブ技術
8	シャンプーイング	18	ヘアカッティング 基礎理論	28	パーマネントウエービング パーマネントウエーブ技術
9	シャンプーイング サイドシャンプー	19	ヘアカッティング ベーシックなカット技法	29	パーマネントウエービング ワインディングの バリエーション
10	シャンプーイング バックシャンプー	20	ヘアカッティング シザーズによるカット技法	30	パーマネントウエービング 縮毛矯正

回	授業内容	回	授業内容	回	授業内容
31	復習・確認	41	ヘアセッティング バックコーミング ～アップ	51	ヘアカーリング 酸化染毛剤の技術手順
32	ヘアセッティング	42	ヘアセッティング ウィッグとヘアピース	52	ヘアカーリング 酸化染毛料の技術手順
33	ヘアセッティング ヘアカーリング	43	復習・確認	53	ヘアカーリング ヘアブリーチ
34	ヘアセッティング ステムの方向と角度	44	ヘアカーリング 概論～種類	54	復習・確認
35	ヘアセッティング カールピニング	45	ヘアカーリング タイプ別特徴	55	重要ポイント解説
36	ヘアセッティング ヘアウエービング	46	染毛メカニズム	56	重要ポイント解説
37	ヘアセッティング ピンカールを順序	47	ヘアカーリング 色の基本	57	重要ポイント解説
38	ヘアセッティング ローラーカーリング	48	ヘアカーリング アンダートーン	58	模擬問題
39	ヘアセッティング ブロードライ	49	ヘアカーリング パッチテスト	59	模擬問題
40	ヘアセッティング アイロンセッティング	50	ヘアカーリング ヘアカラーリングの道具	60	模擬問題

#### テキスト・教材など

テキストは日本理容美容教育センター発行（美容技術理論）を使用  
サブテキストとして担当者作成のプリントを使用する。

#### 評価方法

評価については前期・後期の学期末試験で理解度を計る。  
100点満点中60点以上を合格とし、60点以下のものに対して追試試験を実施する。

対象		教科区分		授業方法	
1年		専門必修科目・学科		講義	
科目名・（時間数）		担当		実務経験	
運営管理（15時間）		外部講師		—	
目標					
美容室の経営や労務管理の基本を理解する。					
回	授業内容	回	授業内容	回	授業内容
1	経営者の視点 経営が必要とされる理由 難しい理由・経営とは何か	11	キャリアプランの重要性 仕事をする上で考えるべきこと		
2	経営資源と経営計画 経営戦略・経営戦略 が目指すもの	12	試験対策		
3	理美容の経営について 業界の概要,競争変化,サービス 顧客について	13	試験対策		
4	資金の管理 資金管理の重要性・支出と 損益・会計	14	試験対策		
5	コスト管理 税金について	15	試験対策		
6	人という資源 従業員としての視点				
7	給与 待遇・福利厚生 労働者の権利				
8	健康・安全な職場環境 の実現				
9	従業員としての 視点から				
10	社会保険 医療保険・労働保険				
テキスト・教材など					
テキストは日本理容美容教育センター発行（運営管理）を使用 サブテキストとして担当者作成のプリントを使用する。					
評価方法					
評価については前期の学期末試験で理解度を計る。 100点満点中60点以上を合格とし、60点以下のものに対して追試試験を実施する。					

対象		教科区分		授業方法	
1年		専門必修科目・実技		実習 1回を3時間とする	
科目名・(時間数)		担当		実務経験	
ワインディング (300時間)		担任		3年以上 (美容師)	
目標					
<p>道具の性質を理解し、基本技術を習得する。            オールパーパスのタイムアップ (20分) と国家試験課題を習得する。</p>					
回	授業内容	回	授業内容	回	授業内容
1	道具の説明 準備の仕方	11	10ブロッキング (10分) 下巻きバックサイド展示	21	10ブロッキング (7分) 下巻き右バックサイド
2	コームの使用方法 ブロッキングの取り方	12	10ブロッキング (10分) 下巻きバックサイド展示	22	10ブロッキング (7分) 下巻きバックサイド
3	正確なブロッキング ブロッキングの重要性	13	10ブロッキング (7分) 下巻きバックサイド	23	10ブロッキング (5分) 下巻き 3ブロック
4	ロッドの巻き込み方 下巻き展示	14	10ブロッキング (7分) 下巻きバックサイド	24	10ブロッキング (5分) 下巻き 3ブロックタイム 25分
5	10ブロッキング 下巻き展示	15	10ブロッキング (7分) 下巻きバックサイド	25	10ブロッキング (5分) 下巻き 3ブロックタイム 20分
6	10ブロッキング 下巻き	16	10ブロッキング (7分) 下巻き左バックサイド展示	26	10ブロッキング (5分) 下巻き 3ブロックタイム 20分
7	10ブロッキング (10分) 下巻き (センター)	17	10ブロッキング (7分) 下巻き左バックサイド	27	10ブロッキング (5分) 下巻き20分 テスト
8	10ブロッキング (10分) 下巻き (センター)	18	10ブロッキング (7分) 下巻き左バックサイド	28	10ブロッキング 上巻き展示
9	10ブロッキング (10分) 下巻き (センター)	19	10ブロッキング (7分) 下巻き右バックサイド展示	29	10ブロッキング オールワイン
10	10ブロッキング (10分) 下巻き (センター)	20	10ブロッキング (7分) 下巻き右バックサイド	30	10ブロッキング オールワイン



回	授業内容	回	授業内容	回	授業内容
31	10ブロック オールワイン40分	44	10ブロック オールワイン40分	57	10ブロック オールワイン30分
32	10ブロック オールワイン40分	45	10ブロック オールワイン40分	58	10ブロック オールワイン30分
33	10ブロック オールワイン40分	46	10ブロック オールワイン40分	59	10ブロック オールワイン30分
34	10ブロック オールワイン40分	47	10ブロック オールワイン40分	60	10ブロック オールワイン30分
35	10ブロック オールワイン40分	48	10ブロック オールワイン40分	61	10ブロック オールワイン30分
36	10ブロック オールワイン40分	49	10ブロック オールワイン30分	62	10ブロック オールワイン30分
37	10ブロック オールワイン40分	50	10ブロック オールワイン30分	63	期末試験 10ブロック 5分 オールワイン30分
38	10ブロック オールワイン40分	51	10ブロック オールワイン30分	64	10ブロック 5分 オールワイン25分
39	10ブロック オールワイン40分	52	10ブロック オールワイン30分	65	10ブロック 5分 オールワイン25分
40	10ブロック オールワイン40分	53	10ブロック オールワイン30分	66	10ブロック 5分 オールワイン25分
41	10ブロック オールワイン40分	54	10ブロック オールワイン30分	67	10ブロック 5分 オールワイン25分
42	10ブロック オールワイン40分	55	10ブロック オールワイン30分	68	10ブロック 5分 オールワイン25分
43	10ブロック オールワイン40分	56	10ブロック オールワイン30分	69	10ブロック 5分 オールワイン25分

回	授業内容	回	授業内容	回	授業内容
70	10ブロック 5分 オールワイン25分	81	10ブロック 5分 オールワイン20分	92	進級テスト 10ブロック 5分 オールワイン25分
71	10ブロック 5分 オールワイン25分	82	10ブロック 5分 オールワイン20分	93	国家試験課題 ブロック 展示 1/2オフベース展示
72	10ブロック 5分 オールワイン25分	83	10ブロック 5分 オールワイン20分	94	国家試験課題 ブロック 展示 1/2オフベース展示 センター
73	10ブロック 5分 オールワイン25分	84	10ブロック 5分 オールワイン20分	95	国家試験課題 ブロック 1/2オフベース展示 バックサイド
74	10ブロック 5分 オールワイン25分	85	10ブロック 5分 オールワイン20分	96	国家試験課題 ブロック 1/2オフベース展示 バックサイド・サイド
75	10ブロック 5分 オールワイン25分	86	10ブロック 5分 オールワイン20分	97	国家試験課題 ブロック 1/2オフベース バックサイド・サイド
76	10ブロック 5分 オールワイン25分	87	10ブロック 5分 オールワイン20分	98	国家試験課題 ブロック オール
77	10ブロック 5分 オールワイン25分	88	10ブロック 5分 オールワイン20分	99	国家試験課題 ブロック オール
78	10ブロック 5分 オールワイン25分	89	10ブロック 5分 オールワイン20分	100	国家試験課題 ブロック オール
79	10ブロック 5分 オールワイン25分	90	10ブロック 5分 オールワイン20分		
80	期末試験 10ブロック 5分 オールワイン25分	91	10ブロック 5分 オールワイン20分		
<b>テキスト・教材など</b>					
テキストは日本理容美容教育センター発行（美容理論）を使用 ワインディング用ウィッグ・道具一式を使用する。					
<b>評価方法</b>					
下巻き・オールワインの試験を実施し理解度を計る。進級時に試験を行い100点満点中 60点以上を合格とし、60点以下のものに対して補講授業を行いその後、追試試験を行う。					

対象		教科区分		授業方法	
1年		専門必修科目・実技		実習 1回を3時間とする	
科目名・(時間数)		担当		実務経験	
カット (100時間)		担任		3年以上 (美容師)	
目標					
カットの基礎技術の習得する。 ワンレングス・セიმレングス・グラデーション・レイヤーの違いを理解する。					
回	授業内容	回	授業内容	回	授業内容
1	道具の説明 準備の仕方 シザーズの持ち方	11	ワンレングスカット ブロッキング シザーワーク	21	グラデーション ブロッキング
2	シザーズの持ち方 コームとの連携動作正しい姿勢 ブロッキング	12	ワンレングスカット ブロッキング シザーワーク	22	グラデーション ブロッキング
3	シザーズの持ち方 コームとの連携動作正しい姿勢 ブロッキング	13	ワンレングスカット ブロッキング シザーワーク	23	グラデーション ブロッキング
4	シザーズの持ち方.正しい姿勢 ブロッキング シザーワーク	14	ワンレングスカット ブロッキング シザーワーク	24	グラデーション ブロッキング
5	シザーズの持ち方.正しい姿勢 ブロッキング シザーワーク	15	ワンレングス	25	グラデーション
6	シザーズの持ち方.正しい姿勢 ブロッキング シザーワーク	16	セიმレングス ブロッキング	26	グラデーション
7	シザーズの持ち方.正しい姿勢 ブロッキング シザーワーク	17	セიმレングス ブロッキング	27	レイヤー ブロッキング
8	シザーズの持ち方.正しい姿勢 ブロッキング シザーワーク	18	セिमレングス ブロッキング	28	レイヤー ブロッキング
9	シザーズの持ち方.正しい姿勢 ブロッキング シザーワーク	19	セिमレングス ブロッキング	29	レイヤー
10	シザーズの持ち方.正しい姿勢 ブロッキング シザーワーク	20	セिमレングス	30	レイヤー

回	授業内容	回	授業内容	回	授業内容
31	レイヤー				
32	レイヤー				
33	レイヤー				
34	レイヤー				
<b>テキスト・教材など</b>					
<p>テキストは日本理容美容教育センター発行（美容理論）を使用 カット用ウィッグ・道具一式を使用する。</p>					
<b>評価方法</b>					
<p>ワンレングス・セიმレングス・グラデーション・レイヤーの試験を実施し理解度を計る。 60点以上を合格とし、60点以下のものに対して補講授業を行いその後、追試試験を行う。</p>					

対象		教科区分		授業方法	
1年		専門必修科目・実技		実習 1回を3時間とする	
科目名・(時間数)		担当		実務経験	
オールウエーブ (45時間)		担任		3年以上 (美容師)	
目標					
<p>道具の性質を理解し、ウエーブの基本技術を習得する。 2学年のピンカールにつながるように全体のバランスを理解させる。</p>					
回	授業内容	回	授業内容	回	授業内容
1	ローション塗布の仕方 テーツコームの持ち方 リッジの作り方	11	7段オールウエーブ (馬蹄形除く) 30分		
2	2段3線のウエーブ復習	12	7段オールウエーブ (馬蹄形除く) 30分		
3	オールウエーブ	13	7段オールウエーブ (馬蹄形除く) 30分		
4	7段オールウエーブ (馬蹄形除く)	14	7段オールウエーブ (馬蹄形除く) 30分		
5	7段オールウエーブ (馬蹄形除く) 40分	15	7段オールウエーブ試験 (馬蹄形除く) 30分		
6	7段オールウエーブ (馬蹄形除く) 35分				
7	7段オールウエーブ (馬蹄形除く) 35分				
8	7段オールウエーブ (馬蹄形除く) 35分				
9	7段オールウエーブ (馬蹄形除く) 30分				
10	7段オールウエーブ (馬蹄形除く) 30分				
テキスト・教材など					
<p>テキストは日本理容美容教育センター発行(美容理論)を使用 ウエーブ用ウィッグ・道具一式を使用する。</p>					
評価方法					
<p>7段オールウエーブの試験を実施し理解度を計る。 60点以上を合格とし、60点以下のものに対して補講授業を行いその後、追試試験を行う。</p>					

対象		教科区分		授業方法	
1年		選択必修科目・一般教養		講義・実習	
科目名・(時間数)		担当		実務経験	
接遇マナー (10時間)		SBS接遇・マナー指導講師 資格取得者		3年以上 (美容師)	
目標					
一般的な接遇マナーから、社会人を見据えた社会人マナーまでを習得する。					
回	授業内容	回	授業内容	回	授業内容
1	自己紹介 ビジネス・カジュアル				
2	自己紹介 ビジネス・カジュアル				
3	履歴書による自己表現				
4	履歴書による自己表現				
5	美容師としての 夢と接遇マナー				
6	学校内のマナー 人への接し方・心がけ				
7	感じがいい・気がきく マナーを理解する				
8	接客と接遇の違い 身だしなみ				
9	身だしなみ 一般的な身だしなみ				
10	接遇マナーの復習				
テキスト・教材など					
SBSマナーテキストを使用する。 サブテキストとして担当者作成のプリントを使用する。					
評価方法					
授業での提出物、学科の試験を行い評価する。					

対象		教科区分		授業方法	
1年		選択必修科目・一般教養		講義・実習 (1回を3時間とする)	
科目名・(時間数)		担当		実務経験	
デッサン (20時間)		外部講師		教員免許 (美術)	
目標					
デザイン画の基礎知識の習得する。 ヘアデザイン画を描けるよう指導する。					
回	授業内容	回	授業内容	回	授業内容
1	ヘアデザインをする				
2	ヘアデザインをする				
3	似顔絵を描く				
4	色鉛筆を使う				
5	季節を描く				
6	ポップアップカード 作成①				
7	ポップアップカード 作成②				
テキスト・教材など					
担当講師作成プリントを使用する。					
評価方法					
作品を提出して評価する。					

対象		教科区分		授業方法	
1年		選択必修科目・一般教養		講義・実習 (1回を2・3時間とする)	
科目名・(時間数)		担当		実務経験	
フラワーデザイン (15時間)		外部講師		華道師範	
目標					
<p>美的感覚を養い、簡単なフラワーアレンジ技術の習得する。 日本の伝統の生け花とフラワーアレンジメントを行う。</p>					
回	授業内容	回	授業内容	回	授業内容
1	オリエンテーション 自由花 (線)				
2	自由花 (点)				
3	自由花 (面)				
4	フラワーアレンジ (コサージュ)				
5	フラワーアレンジ (コサージュ)				
6	フラワーアレンジ (ブーケ)				
テキスト・教材など					
<p>担当講師作成プリントを使用する。 それぞれのテーマにあった花材を使用する。</p>					
評価方法					
<p>作品・ノート提出で評価する。</p>					



対象		教科区分		授業方法	
1年		選択必修科目・一般教養		講義・実習	
科目名・(時間数)		担当		実務経験	
カラーコーディネイト (30時間)		外部講師		A F T 検定合格資格取得者	
目標					
色についての知識を深め、パーソナルカラーの重要性を理解する					
回	授業内容	回	授業内容	回	授業内容
1	色彩と文化四季の 自然を表す色	11	色の感情効果	21	パーソナルカラーの 特徴
2	日本の色の歴史	12	色の感情効果	22	パーソナルカラーの 特徴
3	色と生活	13	CUS配色効果	23	検定対策
4	色の種類	14	CUS配色効果	24	検定対策
5	第2章色彩理論 色のしくみ	15	第3章ファッション ファッション概論	25	検定対策
6	第2章色彩理論 色のしくみ	16	第3章ファッション ファッション概論	26	検定対策
7	感じがいい・気がきく マナーを理解する	17	ブライダルと色彩	27	検定対策
8	CUS表式系	18	ブライダルと色彩	28	検定対策
9	色の三属性と 対比現象	19	第4章パーソナルカラー	29	検定対策
10	色の三属性と 対比現象	20	第4章パーソナルカラー	30	検定対策
テキスト・教材など					
パーソナルカラー協会テキストを使用する。					
評価方法					
評価については後期の学期末試験で理解度を計る。 100点満点中60点以上を合格とし、60点以下のものに対して追試試験を実施する。 パーソナルカラー検定3級を受験する					

対象		教科区分		授業方法	
1年		選択必修科目・一般教養		講義・実習	
科目名・(時間数)		担当		実務経験	
コミュニケーションマナー (60時間)		担任		3年以上 (美容師)	
目標					
コミュニケーション能力向上の習得					
回	授業内容	回	授業内容	回	授業内容
1	始業式	11	2年生実技見学	21	体育祭
2	学生心得	12	教材配布・確認・説明	22	体育祭
3	学生心得	13	外部講師のお話 感想文	23	体育祭
4	ホームルーム	14	外部講師のお話 感想文	24	体育祭
5	ホームルーム	15	外部講師のお話 感想文	25	保護者感謝日
6	自己紹介	16	センター長のお話	26	保護者感謝日
7	感じがいい・気がきく マナーを理解する	17	ホームルーム	27	保護者感謝日
8	接遇マナーについて	18	外部講師のお話 感想文	28	保護者感謝日
9	アドバンスについての説明	19	体育祭	29	保護者感謝日
10	ホームルーム	20	体育祭	30	保護者感謝日
テキスト・教材など					
学校作成プリントを使用する。					
評価方法					
授業態度、外部講師の感想文、保護者宛のお礼状作品などで評価する。					

対象		教科区分		授業方法	
1年		選択必修科目・専門教育		実習 1回を3時間とする	
科目名・(時間数)		担当		実務経験	
パーマ (15時間)		担任		3年以上 (美容師)	
目標					
パーマ液を使用してのかけ方、かかり具合の習得する。					
回	授業内容	回	授業内容	回	授業内容
1	ブロッキングの取り方 下巻き				
2	ブロッキングの取り方 下巻き アップシェープ				
3	ブロッキングの取り方 下巻き ダウンシェープ				
4	ウェーブ用ウィッグの事 前準備 パーマ手順				
5	ウィッグパーマの実際				
テキスト・教材など					
テキストは日本理容美容教育センター発行 (美容理論) を使用する。 パーマ液・モデル用ウィッグ・道具一式を使用する。					
評価方法					
ウェーブ用ウィッグにパーマをかけるてかかり具合をみて、評価する。					

対象		教科区分		授業方法	
1年		選択必修科目・専門教育		実習 1回を3時間とする	
科目名・(時間数)		担当		実務経験	
カラー (15時間)		担任		3年以上 (美容師)	
目標					
カラーについての基礎知識、かけ方の習得をする。					
回	授業内容	回	授業内容	回	授業内容
1	カラー剤の分類.発色の仕組み 成分と役割 基本塗布の仕方				
2	薬剤の作り方 セクショニング ワンメイク展示				
3	カラー剤の発色の 仕組み リタッチ				
4	学科 小テスト ワンメイクトリアル				
5	検定模擬試験				
テキスト・教材など					
テキストはカラー協会の教科書を使用する。 カット用ウィッグ・道具一式を使用する。					
評価方法					
シングルスターカラー検定を受験する為、模擬試験で評価をする。					

対象		教科区分		授業方法	
1年		選択必修科目・専門教育		実習 1回を3時間とする	
科目名・(時間数)		担当		実務経験	
シャンプー (60時間)		担任		3年以上 (美容師)	
目標					
シャンプー技術の基礎を身につけ、アシスタント業務を習得する。					
回	授業内容	回	授業内容	回	授業内容
1	準備・片づけの仕方.クロス の付け方.プレーンリンス	11	シャンプー剤を作る		
2	ブラッシング プロセス.ドライイング	12	カラーリング後の シャンプー展示		
3	ファーストシャンプー ターバン.フィンガーブロー	13	シャンプー トリートメント使用		
4	ファーストシャンプー 耳周り.ネープ	14	連続シャンプー		
5	ファーストシャンプー お客様へのマナー.接客用語	15	5人連続シャンプー		
6	ファーストシャンプー マッサージの基本手技	16	トータル練習		
7	セカンドシャンプー展示 マッサージの基本手技	17	トータル練習		
8	セカンドシャンプー 一連の作業確認	18	トータル練習 確認テスト筆記		
9	トリートメント塗布展示 スカルプマッサージ	19	シャンプー確認テスト		
10	ヘッドスパ展示 ホットタオル	20	シャンプー確認テスト		
テキスト・教材など					
テキストは日本理容美容教育センター発行 (美容理論) を使用する。 学校独自のテキストを使用する。シャンプー剤を作成する。					
評価方法					
技術確認テストを行う。モデルにも評価をしてもらい、総合評価とする。					

対象		教科区分		授業方法	
1年		選択必修科目・専門教育		実習 1回を3時間とする	
科目名・(時間数)		担当		実務経験	
アップヘアー (30時間)		担任		3年以上 (美容師)	
目標					
アップの基礎知識、基本技術の習得をする。 一束・ストレートアップ・夜会巻きを勉強する。					
回	授業内容	回	授業内容	回	授業内容
1	道具の説明・基本技術				
2	基本技術.ピンの止め方 トップの作り方.一束タイム				
3	ストレートアップ展示				
4	ストレートアップ				
5	ストレートアップ 40分				
6	ストレートアップ 40分テスト				
7	夜会巻き展示				
8	夜会巻き				
9	夜会巻き 40分				
10	夜会巻き 40分テスト				
テキスト・教材など					
テキストは日本理容美容教育センター発行 (美容理論) を使用する。 アップ用ウィッグ・道具一式を使用する。					
評価方法					
ストレートアップ・夜会巻きの試験をして評価をする。					

対象		教科区分		授業方法	
1年		選択必修科目・専門教育		実習 1回を2時間とする	
科目名・(時間数)		担当		実務経験	
レーザーカット (10時間)		担任		3年以上 (美容師)	
目標					
レーザーカットの基礎技術を習得する。					
回	授業内容	回	授業内容	回	授業内容
1	カットの姿勢 レーザーの持ち方				
2	テーパーカット技法				
3	テーパーカット技法 カット面による分類				
4	テーパーカット技法 カット面による分類				
5	セニング ポインティング 作品作り				
テキスト・教材など					
テキストは日本理容美容教育センター発行（美容理論）を使用 レーザー・カット用ウィッグ・道具一式を使用する。					
評価方法					
作品を提出して評価する。					

対象		教科区分		授業方法	
1年		選択必修科目・専門教育		講義	
科目名・(時間数)		担当		実務経験	
カウンセリング (15時間)		担任		3年以上 (美容師)	
目標					
カウンセリングについて基礎知識の習得する。					
回	授業内容	回	授業内容	回	授業内容
1	カウンセリング概論	11	ロールプレイング		
2	カウンセリングの手法 コンサルティングとは	12	ロールプレイング		
3	コーチングとは 心理カウンセリング	13	職場の精神衛生管理		
4	カウンセリングに 必要な基礎知識	14	職場の精神衛生管理		
5	コミュニケーション とストレスプロセス	15	カウンセリング試験		
6	カウンセリングの訓練				
7	カウンセリングの訓練				
8	カウンセリングの訓練 スキルアップ訓練				
9	ロールプレイング				
10	ロールプレイング				
テキスト・教材など					
テキストは日本理容美容教育センター発行 (カウンセリング) を使用する。					
評価方法					
ロールプレイングと学科試験を行い評価する。					



対象		教科区分		授業方法	
1年		選択必修科目・専門教育		実習 1回を3時間とする	
科目名・(時間数)		担当		実務経験	
着付け(60時間)		SBS着付け指導講師 資格取得者		3年以上(美容師)	
目標					
着物についての基礎知識、技術の習得					
回	授業内容	回	授業内容	回	授業内容
1	着物の各部の名称 畳み方	11	留袖・補正作り		
2	浴衣の着付け (自装)	12	体型補正 長襦袢の着付け		
3	浴衣の着付け (相モデル)	13	長襦袢の着付け 留袖着付け		
4	浴衣の着付け (相モデル)	14	長襦袢の着付け 留袖着付け		
5	浴衣の着付け (相モデル) 20分	15	帯結(二重太鼓)		
6	浴衣の着付け (相モデル) 20分	16	留袖着付けと帯結び		
7	浴衣の着付け (相モデル) 20分	17	留袖着付けと帯結び		
8	浴衣の着付け (相モデル) 20分	18	留袖着付けと帯結び 55分		
9	浴衣の着付け (相モデル) 20分	19	留袖着付けと帯結び 50分		
10	3級着付け検定模擬試験	20	留袖テスト		
テキスト・教材など					
SBS着付けテキストを使用する。 浴衣教材・留袖教材一式を使用し実技を行う。					
評価方法					
SBS着付け3級検定を受験する為、模擬試験をして評価する。 また、2年次に留袖検定を受験するため、確認テストを行い評価する。					

対象		教科区分		授業方法	
1年		選択必修科目・専門教育		講義・実習 1回を3時間とする	
科目名・(時間数)		担当		実務経験	
エステ(30時間)		A B E エステディレクター 資格取得者		3年以上(美容師)	
目標					
エステについての基礎知識、技術の習得、検定合格を目指す。					
回	授業内容	回	授業内容	回	授業内容
1	エステティック概論 手技の手順				
2	ベットメイキング クレンジング				
3	ベットメイキング クレンジング				
4	マッサージ理論 基本手技手順				
5	衛生と消毒 フェイシャルマッサージ				
6	準備から仕上げ				
7	準備から仕上げ				
8	準備から仕上げ 60分				
9	準備から仕上げ 60分				
10	模擬試験 60分				
テキスト・教材など					
テキストは日本理容美容教育センター発行(ABEテキスト)を使用する。 エステ教材一式を使用して技術を習得する。					
評価方法					
ABEエステ技術検定を受験する為、模擬試験を行い評価する。					

対象		教科区分		授業方法	
1年		選択必修科目・専門教育		講義・実習 1回を3時間とする	
科目名・(時間数)		担当		実務経験	
メイク (30時間)		A B Eメイクディレクター 資格取得者		3年以上 (美容師)	
目標					
メイクについての基礎知識、技術の習得、検定合格を目指す。					
回	授業内容	回	授業内容	回	授業内容
1	道具の名称.使用目的 スキンケア展示				
2	スキンケア (講義) アイブロウペンシルの削り方				
3	ベースメイクアップ (講義) スキンケアとベースメイク				
4	ポイントメイク (講義) ベースメイク・ポイントメイク アイブロウメイク展示				
5	リップから仕上げ (講義) アイブロウ・リップ・チーク・ハ イライト展示				
6	タイムトライアル 45分				
7	タイムトライアル 30分				
8	タイムトライアル 30分				
9	タイムトライアル 30分				
10	模擬試験 学科・実技				
テキスト・教材など					
テキストは日本理容美容教育センター発行 (ABEテキスト) を使用する。 トニーメイク道具一式を使用し技術を習得する。					
評価方法					
ABEメイク技術検定を受験する為、模擬試験を行い評価する。					

対象		教科区分		授業方法	
1年		選択必修科目・専門教育		講義・実習 1回を3時間とする	
科目名・(時間数)		担当		実務経験	
まつ毛エクステ (35時間)		A B E まつエクディレクター 資格取得者		3年以上 (美容師)	
目標					
まつげエクステについての基礎知識、技術の習得、検定合格を目指す。					
回	授業内容	回	授業内容	回	授業内容
1	概論道具の点検 まつ毛のかき分け 展示	11	タイムトライアル50分 仕上がりチェック		
2	ツイザーの持ち方 装着・テーピング	12	模擬テスト 筆記・実技		
3	リムービング展示				
4	Jカール展示・実習				
5	Jカール展示・実習				
6	まつ毛エクステンション 20本装着				
7	まつ毛エクステンション 20本装着 50分				
8	まつ毛エクステンション 20本装着 50分				
9	衛生チェック タイムトライアル50分				
10	タイムトライアル50分 仕上がりチェック				
テキスト・教材など					
テキストは日本理容美容教育センター発行 (ABEテキスト) を使用する。 まつエク教材一式を使用し技術習得する。					
評価方法					
ABEまつ毛エクステ技術検定を受験する為、模擬試験を行い評価する。					

対象		教科区分		授業方法	
1年		選択必修科目・専門教育		講義・実習 1回を3時間とする	
科目名・(時間数)		担当		実務経験	
ネイル(35時間)		A B E ネイルディレクター 資格取得者		3年以上(美容師)	
目標					
ネイルについての基礎知識、技術の習得、検定合格を目指す。					
回	授業内容	回	授業内容	回	授業内容
1	用具の説明 コットンスティックの作り方 ハンドマッサージの手技と手順	11	タイムトライアル55分 仕上がりチェック		
2	マッサージの手技と 手順 復習	12	模擬テスト 実技		
3	エナメル除去 カラーリング.指の持ち方				
4	ファリングからキューティクルの 処理 キューティクルニッパーの持 ち方・使い方				
5	マッサージから バッフィング.カラーリング				
6	マニキュア技術				
7	マニキュア技術 タイム60分				
8	マニキュア技術 タイム60分				
9	マニキュア技術 タイム60分				
10	マニキュア技術 タイム55分				
テキスト・教材など					
テキストは日本理容美容教育センター発行(ABEテキスト)を使用する。 タカラネイル教材一式使用し技術習得する。					
評価方法					
ABEネイル技術検定を受験する為、模擬試験を行い評価する。					